

# ～山形大学 EDGE-NEXT 人材育成プログラム～

## 2020年度 起業家育成プログラム

### リーン・マネージメント コース

#### <プログラム要項>



受講者  
募集中

#### ■プログラム概要(目的):

山形大学EDGE-NEXT人材育成プログラムは、アントレプレナー(起業家)として事業化・起業化を体現するのに必要となる精神:マインドセットと、ビジネスに必要な基本知識:スキルセットを、外部講師による講義、グループワーク等を通して学ぶものであり、「学習」「発想」「交流」「発信」「競争」の要素を全体的に盛り込み、起業家精神を育成しながら自分のアイデアや考えの具現化(事業化)を目指します。

このリーン・マネージメントコースは、起業後の事業を成長させる為に必要な収益拡大を実現する方法、リーンマネージメント(ムダの無い経営)を学ぶプログラムです。

#### ■開催日時: 毎週火曜日 10:00～16:00 全16回

開校式 8月4日(火) ～ 修了式 12月15日(火) ※詳細は日程表のとおり

#### ■受講形式: 遠隔によるオンライン受講 … 講演、講義、グループディスカッション

ZOOM(ビデオ・Web会議アプリ)を使用

#### ■対象: 社会人

学生 (大学生・大学院生)

#### ■募集人数: 20名程度 (うち学生は5名程度)

#### ■修了要件: 講義の8割以上に参加できる方

#### ■受講条件: ZOOMを使用するオンライン講義のため、受講者はタブレットまたはPC(カメラ・マイク付)とネットワーク接続環境を用意できる方

#### ■受講料: 社会人:20万円/1人 大学生・大学院生:2万円/1人

※支払については、受講申込後に大学よりご請求書を別途お送りします。

#### ■お申し込み: メールでお申し込みください。

メール宛先 [si-info@yz.yamagata-u.ac.jp](mailto:si-info@yz.yamagata-u.ac.jp)

受講申込メールの記載事項

- ・題名は【受講申込】としてください。
- ・氏名(ふりがな)、年齢、メールアドレス
- ・団体・企業名 (個人の場合は簡単な経歴)
- ・連絡先の電話番号(平日の日中に連絡できる電話)
- ・連絡先の所在地(在職者は勤務先の所在地、個人は自宅等)
- ・応募動機

申込期限

2020年7月20日(月)

#### ■講師紹介: 柴田 孝 (山形大学客員教授)

成沢 俊子 (ピーキューブ株式会社 代表取締役)

伊藤 弘一 (有限会社サンクスマインドコンサルティング 代表取締役)

山形大学  
国際事業化研究センター

〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16

TEL: 0238-26-3601 FAX: 0238-26-3633

E-mail: [si-info@yz.yamagata-u.ac.jp](mailto:si-info@yz.yamagata-u.ac.jp)

HP : <http://www.big-i.yamagata-u.ac.jp>

# ～山形大学 EDGE-NEXT 人材育成プログラム～

## 起業家育成プログラム(リーン・マネジメントコース) 日程表

テーマ	講義	内容	時間	日時
開校式			小計	2
開校式	開校式	開校式	1	8/4(火)
	オリエンテーション	事務連絡、自己紹介	1	
講義			小計	60
リーン マネジメント	リーン・マネジメント	環境変化とこれからのリーダーシップ 時代に即したビジネスモデル 組織、役割、コミュニケーション リーン・スタートアップ 社員教育でアントレプレナーシップ	4	8/25(火)
	コミュニケーション	聞く、話す、傾聴	4	9/1(火)
	全体最適と見える化	ボトルネックの解消による全体最適化	2	9/8(火)
	経営数字で見える改善	会計の見える化、儲けるための会計 科学的な経営、事業性評価	2	
	リードタイム短縮による経営改善	新山形大学方式 B/S、P/Lの見える化 モノと情報の流れ図(VSM)、動線(レイアウト)	4	9/15(火)
	マネジメント概論	6つの動機 トータルモチベーション(ToMo) 管理の見える化 スクラム、かんぱんボード、ワークフロー	4	9/29(火)
リーン生産	リーン生産方式	ムダを省いて価値を高める 人・モノ・時間のムダ リードタイム短縮・在庫量削減・直行率向上	4	10/6(火)
	新山形大学メソッド	ビジネスモデル、B/S、P/L VSM、動線 異常管理	4	10/13(火)
	線の改善	多品種少量生産の為に良い流れの動線を作る モノと人の動線 レイアウト改善の効果	4	10/20(火)
	点の改善	ECRS、作業時間分析、動作経済の原則、 マンマシンチャート 5S・3定	4	10/27(火)
	VSMの活かし方	ものど情報の流れ図(現状、あるべき姿) 改善ストーリー ケーススタディ	4	11/10(火)
問題解決の ステップ	問題を解決するには	組織としての「困りごと」と「背景」を理解する	5	11/17(火)
	現状を正しくつかむ	VSMや動線図などのツールを使って現状を明らかにする	5	11/24(火)
	ゴールを描く/ギャップ分析	ゴール・コンディション/ギャップ分析	5	12/1(火)
	対策と実行	複数の対策案を立案し、実行計画を立てて実行する 実行の後を見る	5	12/8(火)
修了式			小計	3
修了式	成果発表会	成果報告	2	12/15(火)
	修了式	修了証書授与	1	
			合計	65